

磐城時報

日四廿
編輯發行 岡田 弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一月金拾錢
廣告料一行十二字拾五錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

頭山滿翁を迎へ 歡迎茶話會

當代の國士頭山滿翁は東北猪狩庄平、柏原幸次郎の各を遊歴會津に入り故友柴四氏が發起となり二十七日午郎氏及び白虎隊の展覧をな後一時から平第三小學校で二十七日午後零時四十五分歡迎茶話會を催はする事に分平驛着列車で來平、平町に於て、會費二十錢希望者を二巡し、歸途常磐炭礦とは二十六日迄平町三丁目柏勿來の關係を視察する事に原幸次郎氏宛申込まれたいなつたので大森勇、山崎清と、諸備久太郎、大嶺庫、

小名濱の埋立地 貸付選定に苦心

商港小名濱の魚市場建築に魚港並に漁業に關係ある使伴六千五百坪の埋立工事用者に貸付ける事になつては五月中旬完成の豫定だが、早くも借地人殺到魚市場並に所要敷地は約一町當局は貸付人選定に頭を千坪で残余の五千五百坪は悩ましてゐる。

荻生天泉畫伯寄贈の 置額奉納式

縣下三阿彌陀堂の一として居るが、是れが奉納美術史上に誇りをもつ内郷式は地元保存會で畫伯の來村白水國寶阿彌陀堂の藤原郷に付いて開合させた結果愈時代を描寫せる大置額は荻々五月八日午前十時から阿生天泉畫伯が心血をそそい阿彌陀堂境内で盛大に行はれで執筆されたもので横九尺、縦七尺、時價千五百圓と言時から兼ねて落成されてあ

つた白水高野山の弘法大師堂の御遷座入佛式も併せて行はれるが、式次左の如くである。

- 一、開會の辭
- 一、本尊御法祭
- 一、畫伯の奉納文奉讀
- 一、本派管長より賞品賞状授與
- 一、謝辭(沼田保存會長)
- 一、來賓祝辭
- 一、曼茶羅の奉拜
- 一、閉會の辭
- 一、私法入佛式午前十一時
- 一、別當願成寺より白水高野山大師像御遷座(途中行列)一、入佛奉安
- 一、法要 一、入佛奉安
- 一、御歌詠 一、祝辭
- 一、答辭 一、閉式

石城郡醫師會

五月九日總會
石城郡醫師會第三十五回定時總會は五月九日午後一時から平町二丁目常陽銀行支店に開き左の事項の報告協

△報告事項
一、十一年度後半期庶務、十一年度後半期健康保險事務、同救濟事業事務、國民保健に關する件、陳情運動經過
△協談案
一、十一年度醫師會出入決算

奉納文
本邦平安朝の阿彌陀如來を本尊とし觀音勢至の菩薩持國增長二天を脇侍とし福島縣下に於て本朝三た阿彌陀堂の一として美術史上に燦然たる光輝の發するものは實に此白水阿彌陀堂なり、余昭和八年の夏その眞を寫すこと前二回、その尊像の優雅にして清麗なり、四圍の峯巒の鬱乎として蒼々たるを見改めて白水阿彌陀堂曼茶羅を作らんと志し歸京の後齊飛沐浴香香を用ゐること二ヶ月にして漸く完成し慈光と題して第十四回帝國美術院展覽會に出品せり、別當願成寺住職赤土興榮師を始め信者各位余の企を聞きて滿腔の誠意を寄せられたるを以て茲に裝進を完成し謹んで之を實前に奉ぐ仰祈願は諸佛諸尊余が渴仰の微衷を嘉納し慈悲の眺を垂れたまはらんことを 恐惶謹白
天泉 荻生 守俊

平保線區長 東京に榮轉

平保線區長廣住寛六郎氏は、兩日に亘り盛大に執行す二十四日付東京鐵道局工務部保線課に榮轉、後任は千野武雄氏着任する。廣住氏は並に海盛座等に從業員家族日立大子保線區長から平保線區長のトキキ映畫、二十線區主任となり平保線區長から平保線區長に榮轉する。十ヶ月であつたが保線區事田三郎一行が開演する。

執行猶豫の恩典 渡邊甚内等の判決

平町柳町十一農渡邊甚内(せん)事を謀り昭和八年十一(四九)及び山田村關根房吉月縣社に侵入したが搜索不(三四)の兩名に係る建造物充分のため発見出來ず同實侵入窃盜未遂事件控訴審は物がなないものとあきらめて二十三日東京控訴院刑事三更に第二計劃として關根と部神垣裁判長から左の判決 共謀亦井村水昌山玉藏院常言渡しがあつた。(割孤内は 福寺寶物黄金の鑿師如來(原審)
△懲役二年 執行猶豫三年
△懲役二年半 渡邊甚内
△懲役二年 未決百日通算
關根 房吉
渡邊は生産黨福島擴張委員であるが現下時局を立直し國家改造をなさんためには一部特權階級を葬むるに若かずと考へ同資金を集めるため相被告右翼統天塾員衣室彌之と共謀の上平町縣社飯野八幡神社に寶物として川中子農柴野藤太郎さんの傳へられてゐる黄金の馬(長男好延(三二)二男正(二)閻浮檀金製神馬像)を窃取六(三男春紀(二四)四男七

兄弟四人 揃つて軍人

軍國日本の春を飾る明朗な空彌之と共謀の上平町縣社飯野八幡神社に寶物として川中子農柴野藤太郎さんの傳へられてゐる黄金の馬(長男好延(三二)二男正(二)閻浮檀金製神馬像)を窃取六(三男春紀(二四)四男七

謹告
來ル四月二十七日靖國神社臨時大祭
二付敬意ヲ表シ謹テ臨時休業仕候
平町銀行組合

當代の國士
頭山滿翁(平)歡迎會
一、會場 平第三小學校講堂
一、日時 四月廿七日午後一時
一、茶話會 會費金貳拾錢
發起人
大 山 崎 清 三 男
大 橋 久 太 郎
大 森 庄 平
大 原 幸 次 郎
大 嶺 庫 三 男

入會希望の方は四月廿六日迄に平町三丁目三井呉服店へ御申込下さる。

松村科性病院
 花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科
 胃腸病科 內科
 門專
 院醫科性胃村松
 (番七〇一電) 町南町平

油と味の 吉屋 鹽屋
 福島縣平町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京一九七五番
 明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

魚名すから ヒノマル凍魚
 鯛 マナ鯉 ワカサギ
 エビ 甘鯛 帆立貝
 白魚 カナ頭 うに貝焼
 日本産手特約(番三三三六番)
 卸小賣 平製氷會社
 衣室店 小印魚肉屋
 四月五日五二八番
 ◎新鮮な冷凍貝焼あります

市制實施の
 躍進的味ひ。
 うまさ！
 新興都市「平」の
 味覺行進曲...
 新案 たひら羊羹
 土産好適品・一本十錢
松月堂 謹製
 磐城平(電二〇六)

北川外科
 平町新川町二七(諸橋醫院跡)
 血液検査(毎日) イソデモ
 入院出来マス
 技師 小林良次
 電話四六四番
 外科一般レントゲン科
 内臓外科 泌尿器科

三井タクシ
 平町二丁目
 電話六八五番

安齋醫院
 平町田町
 電話四七五
 入院隨意
 産婦人科 醫學士 黒澤廣
 内臓外科 院長 安齋徹
 エソキス光線

上田外科
 平町南町
 電話一三九番
 入院應需
 診療科目
 一、齒科 一般
 補綴科 保存科
 齒列矯正科 小兒齒科
 齒槽膿漏科 二、口腔外科
 一、レントゲン科
 中野齒科醫院
 院長 日本齒科中野惠次
 日本齒科西川誠
 平町田町(松月堂向)
 電話五〇九番

關内藥局
 電話四〇番
 写真機 秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス
 材料一式
 吸入用酸素 純度99%
 モノサシ ハカリ
 マス 体温器 寒暖計

耳鼻咽喉科
 大和田醫院
 平町南町(電話一七〇番)
 入院自炊の便あり

吉田眼科醫院
 平町紺屋町(電話六八番)
 妻ハル儀病氣ヲ處藥石効ナク
 二十二日午後六時三十分死去
 致シ候間此段御通知申上候
 追而葬送ノ儀ハ來ル二十六日午後二時自宅
 出棺平町九品寺ニ於テ佛式ニ依リ相營シ申
 スベク候
 昭和十二年四月二十三日
 平町紺屋町 佐々木健一郎
 外親戚一同

和洋銅鐵金物問屋 久益屋商店
 諸橋久太郎
 電話九九番

開院 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 專門
 江尻醫院
 平町田町(山内醫院跡)
 電話六九一
 醫學博士 江尻伊三郎
 入院隨意
 診療時間 午前八時ヨリ 午後九時マデ